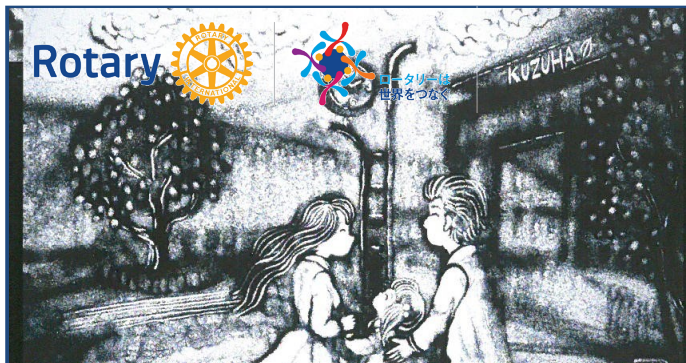
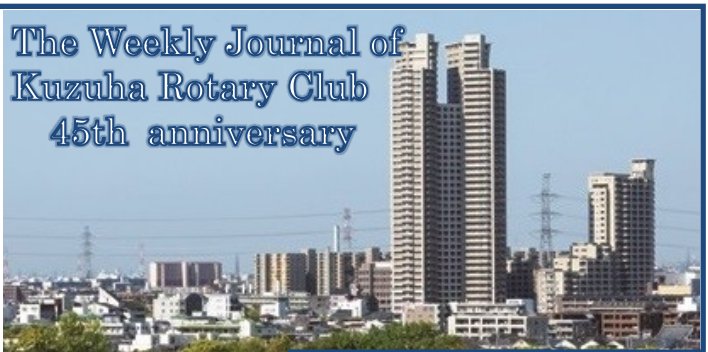




The Weekly Journal of Kuzuha Rotary Club 45th anniversary



國田 欣吾 会長

2019-20年度クラブテーマ

「くずはロータリークラブの
輝かしい未来に向けて」
歴史と伝統を学んで実践しよう！

2019-20年度理事・役員

会 長 國田 欣吾
直前会長 岡山 量正
会長I/II 初木 賢司
副 会 長 米田 勉

幹 事 橋喜 久夫
S A A 柿丸 裕
会 計 栗津 直晶
理 事 小北 英夫

2020年6月10日 第2170回例会

理事(長期計画) 源本 将人
理事(社会奉仕) 白井 博己
理事(国際奉仕) 森岡 順一
理事(職業奉仕) 田代 ミチル
理事(青少年奉仕) 松吉 富彦彦

例会プログラム

12:30 開会点鐘

- ・ロータリーソング「四つのテスト」
- ・お客様紹介
- ・会長の時間
- ・幹事報告
- ・出席状況報告他
- お食事の時間 —

・卓話「生涯の趣味」

河本 賢一 会員

・東北訪問報告

①式典 白井 博己 社会奉仕委員長

②復興 國田 欣吾 会長

・委員会報告

・その他 ニコニコBOX報告

13:30 閉会の点鐘

本日の会合はありません

本日の歌♪

「四つのテスト」

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのために

なるかどうか



■本日の配布物

①6月10日 週報

②ロータリーの友 5/6月号

■本日の回覧物

①6月 例会出欠表

■地区行事等出席予定 (敬称略)

6/9 次年度クラブセントラル・ロータリー賞説明会

並びにCIM分科会 Zoom会議 初木

6/23 米山奨学生利エンション 多田



合 計	¥56,000-
累 計	¥1,294,363-

ニコニコ箱メッセージ

(敬称略・順不同)

* 例会出席のよろこびに

ガバナー補佐エレクト 藤田 正明 様(門真RC)

* 誕生日祝いありがとうございました

今平 健一

* 新型コロナウイルスが早く収束することを願って

高島 叔孝

* 再会したよろこびに

林 宏毅

* 入会記念品有難うございました

くずはRCの発展を心より祈ります 山本 なをみ

* 誕生日祝いをいただきありがとうございます

森岡 順一

* 久しぶりに皆様にお会い出来た喜びに

堀之内 将次

* コロナに勝！ 乗り切り乗り越える！ 安江 浩一

今後の予定

6月17日(水) ■卓話「次年度に向けて」
ひらかた仙亭 初木 賢司 会長エレクト
■分類 選考委員会1100~
■被選理理事会13:35~

6月20日(土) 春季家族例会

6月24日(水) ■退任挨拶
ひらかた仙亭 役員・理事
12:30~13:30 新会員から一言
■新旧合同理事会

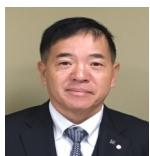
2020-21年度

7月1日(水) ■新年度スタート
ひらかた仙亭 ■就任挨拶
12:30~13:30 会長・副会長・幹事・SAA
■プログラム発表
■定例理事会13:35~

7月8日(水) ■理事就任挨拶
ひらかた仙亭 4大奉仕理事、特別理事
12:30~13:30 長期計画・研修・増強・
親睦各理事

7月15日(土) 定款により休会①

会長の時間



國田 欣吾 会長

こんにちは、ご出席をいただきありがとうございます。

先週は多くの皆さんにご出席をいただいて緊急事態宣言明けの例会も無事終えることができ、大変うれしく思いました。しかし先日、第2波として東京で感染者が出て、東京アラートが発動されて、まだまだ終息には程遠いように思います。今日もお仕事の関係もあり欠席されている会員もおられますが、今回は先週より先輩方を含め10数名多くの方にお越しをいただきありがとうございます。先週に続いてしばらくは少し少ない人数での例会になりますが、こうしてお越しいただけることに感謝しております。今月より食事を用意しておりますので、通常通り例会を開催してまいりますので皆さんのご協力をよろしくお願いします。今今日は久しぶりにお客様にお越しいただきました。3名の方々をご紹介します。

まず初めに、次年度に向けて忙しい日々を送っておられます。ガバナー補佐エレクトの藤田正明様、そして毎年お越しをいただいています、タイのアカ族へ支援活動をされておられますタイ チェンライロータリークラブの原田義之様、コロナの大変な状況の中お越しをいただきましてありがとうございます。最後に、コロナの影響でオリエンテーションが延期され今日になりましたが、本年度から次年度3月末まで摂南大学看護学部で学ばれます、中国からお越しの張麗麗さんです。次年の多田委員長がお世話をさせていただきます。多田委員長よろしくお願いします。

藤田ガバナー補佐エレクトには、コロナの影響で地区の会議もない中準備をされておられ、このような時にお越しいただきありがとうございます。皆様ごゆっくりご歓談ください。

本日の卓話は昨年もお越しいただきました原田様にお話をいただきますので、昨年と同様にパワーポイントで詳しく説明をいただきます。当クラブにとって国際奉仕活動の一助になればと思っています。皆さんお聞きください。

さて、今日の例会は本来でしたら、クラブ協議会の開催案内をして行うべきですが、しばらくは自由参加となっておりますので、理事会で承認されたクラブの定款細則と内規をご報告いただきます。

そしてもう一つは座席指名をさせていただいていますが、次年度に向けての引継ぎがございます。今日は時間もありませんので資料をご覧ください、個々にアドバイスををお願いします。

そして、ご報告です。地区より各地域の感染病棟にフェイスシールドが寄贈されることになり、私ども地域のひらかた病院にも寄贈されます。これは枚方、交野、くずはの3クラブで6月11日に贈呈式を行います。そして、先週の例会でお話を申し上げました通り、今月が私にとって最後の月になりますが、3ヶ月休んだ分、進めなければならない事業が山積していますので、全力で歩んでいきたいと思います。また、これからの例会は次年度にとっても大切な時間になりますので、できるだけご出席をいただきますようによろしくをお願いします。最後までよろしくお願いします。

6月3日例会のお客様



ガバナー補佐エレクト
藤田 正明 様



チェンライIRCパスト会長
原田 義之 様



2020年度米山奨学生
張 麗麗(チョウ リ) 様



米山カウンセラー
多田 利生(次) 委員長

委嘱状の伝達

米山カウンセラーの多田(次)委員長に
委嘱状が会長より伝達されました

ひらかた仙亭 山本なをみ会員より

山本でございます。この場をお借り致しましてお礼を申し上げます。コロナウイルスの影響により心を痛めておられます魁夷の方も多し中、先日國田会長様よりお見舞金を頂戴いたしました。正直驚いております。会長様、会員の皆様には心から感謝いたします。本当に有難うございました。これからも少しでも皆様のお力になれますよう、そして喜んでいただきますよう日々努力し精進して参ります。本当に有難うございました。

もんぺ座へ支援金を贈呈



6月5日(金)ひらかた仙亭4階にて今年度の支援金をお渡ししました。コロナの影響で活動自粛のようですが、コロナを材題にした人形劇の案をこやかに話されていました。

卓話「続・輝く瞳に会いに行こう」 ―北タイ・アカ族識字率向上支援―

R3360地区チェンライRC パスト会長（タイ国立ダムロン高校日本語教師） 原田 義之様

私は北タイに住むアカ族子供たちに識字率向上支援して13年になります。昨年も貴ロータリークラブから「北タイ・アカ族識字率向上支援金」としてご支援頂いた資金で、昨年6月と12月の2回子供134人に北タイ肉料理「ム・カタ」の給食支援を行いました。なぜアカ族子供に肉料理支援なのか。日頃伸び盛の7歳から15歳の子供が口にできる肉は週に1, 2度2, 3切れ程度だからです。



さてアカ族は8百年間東アジアを回遊後、北タイに達し山岳農業で生計を立てていますが一家族月収は1万円ほどで、9人家族で極貧な生活を送っています。アカ族の常用語はアカ語で、タイ国の母国語はタイ語です。子供たちは識字向上のために山の親元を離れ、10ヶ月9年間を自給自足生活で寮生活をして最寄りの学校に通い励んでいます。子供寮は総竹製で蚊は死に至るデング熱病やマラリヤを媒介します。彼女らは死と隣り合わせで励んでいるのです。

もし学ぶ機会がなく識字ゼロで大きくなると、タイ社会で生きて行くのは困難になります。この地域は麻薬取引地帯で、低識字なるがゆえに重労働に耐えかねた男の子が、又家族を養う手段にと父親が麻薬運び屋の罪で投獄20年の刑で獄中生活を送り人が後を絶ちません。また識字ゼロの15, 6歳の女子は、無知な父親に1千キロ離れた首都バンコクの歓楽街の仕事に出され、やがて幾ばくかの娘はエイズを患い泣き泣き1千キロ先のアカ族村に戻るのです。ロータリーの重点分野「基本的教育と識字率向上」支援が、北タイ・アカ族子供に重要であるとのご理解を頂けましたでしょうか。

私はアカ族子供に識字率向上支援を行い、子供たちを「差別から克服させて上げたい」の思いで13年間助けます。アカ族子供を差別から克服させるためにはタイ語習得だけでは不十分で、外国語とか特殊技能習得で求められる人材に育成をさせたいのです。里親支援制度を設け、私と巡り会わなかったら識字機会がなかった、であろうアカ族子供39人を里子として支援中です。その里親支援する教え子にフレンドがいます。彼女はアカ族の貧しい農家に生まれダムロン高校で3年間日本語トップでした。ラチャパット大学日本語科で4年間トップを通し、この度日本政府無償招聘留学生として現在、国立愛知教育大学に1年間留学中です。

私がこのように長年アカ族子供に識字向上支援ができたのも、タイ国立ダムロン高校が私に13年間無報酬教師の立場を与えてくれたからです。その甲斐あって昨年5月25日にダムロン高校は、私の長年の奉仕に「ダムロン日本文化センター」一原田義之記念室一を開設し労を形にしてくれました。13年間日本語ボランティア教師として教壇に立ったこと、私が教壇に立つことがなくなっても私が培った日本語、日本文化教授ノウハウが末永く蓄積されたのです。

今134人のアカ族子供寮生がコロナ問題で困窮に陥っています。アカ族親の収入源の農作物の販路は中国向けです。ところが2月後半以降中国国境封鎖で陸路輸送はゼロとなり、収入ゼロになりました。タイ政府支援金は一家族5千バーツしかしアカ族60%は無国籍で対象外です。7月から学校は新学期です。コロナ貧困で親から寮費や生活費を持たずに多くの子供は寮に戻ります。当面日常生活物資に困ります。

そこで寮生全員に向こう半年分の生活物資を総額74万円相当で助け、識字向上機会を確保致します。今回の貴クラブからご奉仕頂いた「北タイ・アカ族識字率向上支援金」を、その支援に充てさせて頂きます。またご報告をさせて頂きます。私は再び8月2日からアカ族子供支援に北タイに入ります。私の目の前のあのアカ族子供を麻薬、売春、エイズを身に患う等の“悪の予備軍”にだけはさせたくない、又コロナ貧困で識字向上から離反させないよう支援を続けて参ります。



アカ族識字率向上のための支援金を贈呈



アカ族子ども達より感謝状を頂きました



第12回定例理事会決定事項

■報告事項

- ①2660地区並びに地区内各クラブより医療機関へフェイスシールド寄贈の件
地区と地区内各ロータリークラブからのコロナ対策支援寄付金にて地区内医療機関へフェイスシールドを寄贈。市立ひらかた病院へ5千枚。枚方・交野・くずはRCが担当。
寄贈式6月11日(木)14時～枚方市役所市長公室にて

- ②会員増強の件 6月17日に職業分類会員選考委員会にて候補者と面談予定

- ③もんぺ座支援の件 6月5日(金)13:30～ひらかた仙亭1Fにて支援金の贈呈

■協議事項

- ①東北支援並びに友好クラブの件

・気仙沼RCと友好クラブ締結について一賛成多数・東北支援について一再度協議をする

■審議事項

- ①クラブ独自のコロナ対策支援についてー 枚方市より非接触型体温計・N95マスク等要望がありました品物がないたため「枚方市コロナウイルス感染症対策応援基金」に100万円を寄付
可決承認

- ②会費未納について

会費納入期限を2021年6月末まで延長とする。

可決承認

新型コロナウイルス流行を強く生き抜くための「回復力」の科学

寄稿者:ジェニー・ストッツ(ロータリー第6690地区会員増強委員長)

回復力(Resilience)とは、逆境においても、その状況に適応していくプロセスのことです。人間は衝撃的な出来事やストレスの強い場面に直面すると、脳が多数の神経経路を活性化させ、身体を守る仕組みになっています。このような生物学的プロセスのおかげで、私たちは健康を保っています。そして人はこのような出来事を乗り越えることで成長して変わることができ、また強くなれるのです。現在、多くの人が新型コロナウイルスのパンデミックという現実と直面しながら日々を送っています。幸いなことに、回復力を大きくする方法がいくつかあります。今回の新型コロナウイルスの流行は、皆が一丸となってロータリアンやクラブの回復力を養い育むことで、ロータリーをさらに強くするチャンスでもあります。そのためのヒントをいくつかご紹介します。

つながる:回復力を養う上で大切な要素の一つは、単純に人と「つながる」ことです。まずは仲間のロータリアンと連絡を取ってみましょう。電話で話したり、メッセージを送るのもよいですし、会員がオンライン例会に参加できるよう準備するのもよいでしょう。また各クラブも、ロータリーというグローバルなネットワークに各会員が溶け込めるように、他のクラブとつながることを検討してみましょう。

大局を見る:人は逆境が続くと希望を失ってしまいます。だからこそ、現実を見つめ、ポジティブな思考を持続けられるよう仲間を励ましましょう。ロータリークラブは現在、例会の新しい形式に適応する必要に迫られ、また会員増強や寄付推進についても懸念が募るなど、困難に直面しています。しかしこの困難は決してロータリーの将来に影を落とすものではありません。私たちの将来はこの難局をどう乗り切るかにかかっているのです。

健康を保つ:私たちは、「隔離」や「ロックダウン」、「Zoom疲れ」などという言葉が一般的に使われるようになった時代を生きています。そんな今だからこそ、仲間の会員と一緒に健康増進、健康第一を心がけましょう。またオンライン例会では、会員自身や家族が実践している健康維持方法を紹介してもらいましょう。休憩が必要な人や、例会に出席できない人、Eメールの返信に数日かかってしまう人にも、優しく対応してあげましょう。今は点数争いや貢献度を競うような時ではありません。優しさをもって話し、耳を傾けましょう。

目的を持つ:人を元気づけると、自分自身の心も満たされます。そうすることで自尊心が磨かれ、目的意識や人の気持ちを汲み取る心も芽生えてきます。まずは、実行可能かつ達成可能な奉仕活動を仲間と一緒に計画してみましょう。また、現在進行中の大規模なプロジェクトと並行して小規模なプロジェクトを実施することで、会員一人ひとりが奉仕活動に参加しやすくなります。

感謝する:人は感謝の気持ちを心で受け止め、意識的に考えることで力を得ています。感謝されることで、セロトニンやドーパミンといった神経伝達物質の放出が促進され、喜びや幸せを感じやすくなります。ですから、ほんの少しだけ時間を取って仲間に感謝し、またクラブの全会員から地域社会やパートナーに感謝の気持ちを示す機会を作りましょう。

皆がお互いを気遣うことができれば、回復力を養い育むための道を切り拓くことができます。このような努力を組織レベルまで拡大することで、ロータリーの新たな潜在能力が解放され、クラブの強化、会員体験の向上につながります。世界は今、回復力、適応力、強さを兼ね備えたロータリアンとロータリークラブを必要としています。お互いを思いやる気持ちは大切ですが、自分自身を気遣うことも忘れないでください。あなた自身も、大きな回復力を備えた最高の自分になるべき大切な存在なのです。